

HB通信

編集・発行 /
一般社団法人
ひょうご部落解放・人権研究所



〒650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2階
TEL: 078-252-8280 FAX: 078-252-8281
e-mail: blrhyg@extra.ocn.ne.jp URL: http://blrhyg.org/

所長の諏訪山だより

G7 入れ替え制なら 外されそう

今年の2月3日に荒井勝善首相秘書官が性的マイノリティや同性婚などについて「隣に住んでいたら嫌だ。見るのも嫌だ」、(同性婚を)「認めたら、日本を捨てる人も出てくる」などと発言し、翌日、岸田首相に更迭された。岸田首相は、更迭の理由として多様性を尊重する内閣の方針に反する発言であることをあげるが、その岸田首相は2月1日の衆院予算委員会で、立憲民主党の西村代表代行が同性婚の法制化を求めたところ、「極めて慎重に検討すべき課題だ。家族観や価値観、社会が変わってしまう課題」と、同性婚の法制化について非常に消極的な発言をしていたのである。そして、荒井発言後の国会で、岸田首相は同性婚については「さまざまな議論が大事、議論を重ねることが必要」と、同性婚やLGBT理解増進法案に反発する自民党内の保守派に配慮するかのような答弁を繰り返している。

岸田首相は社会が変わってしまうと言うが、産経新聞とFNNが今年2月に実施した世論調査では、同性婚を法律で認めることに「賛成」が71.0%にのぼり、自民党支持層に限っても「賛成」が60.3%になっている(産経新聞2023年2月21日)。社会はすでに変わっているのである。それに加えて、昨年のG7サミットの首脳コミュニケでは、性自認や性的指向に関係なく、誰もが同じ機会を得て、差別や暴力から保護されることが再確認され、日本政府もこれに賛同していたのである。それにもかかわらず、今年のサミット議長国である日本は、性的マイノリティに関する法整備に何ら着手していない。

荒井首相秘書官は「秘書官もみんな嫌だと言っている」と発言したが、そのときの首相秘書官8人は、全員が男性で、そればかりか、岸田政権発足時に内閣広報官を男性に交代させたので、内閣の幹部官僚すべてが男性となっている。これでは岸田首相が尊重している多様性とは正反対ではないか。ジェンダーギャップ指数ランキング(世界経済フォーラム)で世界116位、「女性の働きやすさランキング」(英『エコノミスト』誌)は7年連続ワースト2位、難民認定の桁違いの少なさ、同性婚やパートナーシップ制などの法整備ゼロ等々。G7に入れ替え制があれば、日本は真っ先に外されるであろう。

なお、タイトルは朝日川柳(2023年2月8日)から拝借した(神奈川・山本晴夫さん作)。

所長 石元清英

〈講座のご案内〉

人権教育実践講座【2023年度も開講します！】 はじめてみよう！これからの部落問題学習

- 期 間：2023年8月7日（月）・8日（火）・22日（火）
- 対 象：教員、関心をお持ちの方はどなたでも
- 定 員：①会場 24人 ②オンライン 100人
※オンライン参加はワークショップ、フィールドワークでは実施しません。講義ごとに会場参加、オンライン参加のいずれかをお選びください。
- 参加資料代：1コマ2,200円／全9コマ（19,800円）
◎全講座お申し込みの場合、18,000円【1,800円お得です！】
- 会 場：兵庫県立のじぎく会館
神戸市営地下鉄「県庁前」駅（西出口1）北へ400m
神戸市営バス（7系統）諏訪山公園停留所下車160m
- 募集期間：2023年5月1日（月）～7月31日（月）
- 日 程

日にち	時間割	時 間	講義内容	講 師
8月7日（月）	1	10：00～11：45	部落問題 何を教えるか	石元 清英
	2	12：45～13：30	部落差別のいま	北川 真児
	3	14：45～16：30	兵庫五国 ーさまざまな部落のありようを知ろう	細田 勉
8月8日（火）	1	10：00～11：45	部落史は変わった！ 部落史のその「常識」、大丈夫？	宮前千雅子
	2・3	12：45～16：30	アクティブラーニング ー動き、気付き、さらなる学びへ	井上浩義他
8月22日（火）	1	10：00～11：45	授業づくりワークショップ	坂本 研二
	2・3	12：45～16：30	神戸市の被差別部落	主に地元の方々

- 申込方法（2023年5月1日より申込開始）：① FAX ② WEB
※詳しくは右記 URL を読み込んで、専用パンフレットをご覧ください→



- 主催：人権教育実践講座実行委員会
(公益財団法人兵庫県人権啓発協会、兵庫県人権教育研究協議会、兵庫県教職員組合、兵庫高等学校教職員組合、一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所)
- 後援：兵庫県教育委員会
- お問い合わせ：一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所
TEL：078-252-8280 mail：blrhyg@extra.ocn.ne.jp



本の紹介

あらためてヘイトスピーチを考えるための7冊+

10年前の2013年、「ヘイトスピーチ」という言葉が「ユーキャン新語・流行語大賞」トップテンにランクイン、多くの人に知られるようになった。今回はあらためてヘイトスピーチについて考えるための本7冊と動画（YouTubeチャンネル）を紹介することにしたい。

まずは『ヘイト・スピーチとは何か』（1）。著者は長年この問題に取り組んできた弁護士で、どういう問題なのか、法や制度など解決のために何が必要なのか、海外の事例の検討も含め、基本的なことが書かれている。2013年の出版だが、今も折に触れ何度も読み返している。

2013年前後に何が起こっていたのかは、後述の「在特会」等の動きに早くから注目してきたノンフィクションライターの安田による『ヘイトスピーチ』（2）に詳しい。

共同通信ヘイト問題取材班の角南の『ヘイトスピーチと対抗報道』（3）は、2016年のヘイトスピーチ解消法制定以降の状況や裁判もコンパクトに読みやすくまとめられている他、その背景の一つと言える「官製ヘイト」や「歴史改竄によるヘイト」などにも誌面が割かれている。

さて、2013年に何が起こったのか。在日コリアンへの差別を扇動するヘイトスピーチの激化とそれに抗議する市民の直接行動の活発化、その中でようやく始まったメディアの報道だ。主な現場は、主にニューカマーの韓国の人々が開く飲食店や化粧品店などが集まる東京の新大久保と、古くから在日コリアンが多く住む大阪の鶴橋周辺。『実録・レイシストをしばき隊』（4）には当時の新大久保の状況が、反ヘイトの先駆けとなった「しばき隊」を呼びかけた野間により描かれる。

ただヘイトスピーチは2013年に始まったわけではない。排外主義を公然と掲げる「在特会」（「在日特権を許さない市民の会」が正式名称だが、これ自体がデマとヘイトに満ちている）が結成されたのが2007年。彼らは以降、フィリピン人一家への排外デモ（2009）、京都朝鮮学校襲撃事件・徳島県教組襲撃事件（2010）、水平社博物館差別街宣事件（2011）などを次々と引き起こしてきた。ヘイトスピーチがもたらす害悪の一つが、当事者が被る「恐怖・不安・不信／長期にわたる心理的影響／自尊感情の喪失／沈黙効果」と言われるが、『ルポ京都朝鮮学校襲撃事件』（5）からは、関係者たちの被害と葛藤、どういう思いで闘ってきたのかがダイレクトに伝わってくる。

「在日特権」なるデマについて膨大な資料と取材により検証した『「在日特権」の虚構』（6）も、今もこうしたデマがなくならない中、きちんと反論するためにもお勧めしたい。

本ではないが、今の状況を知るためにお勧めしたいのがYouTubeチャンネル「NoHateTV」（7）。毎週水曜夜に放映、過去の動画も見ることができ、資料としても大いに役に立つ。

今年は関東大震災と震災時の朝鮮人虐殺から100年。『九月、東京の路上で』（8）は2013年、新大久保でヘイトデモに抗議の声をあげてきたフリーライターの加藤が「関東大震災は過去の話ではない。今に直結し、未来に続いている」という焦りのような思いから同年9月に開設したブログを基にした本である。歴史を繰り返さないために今何をすべきかを考えたいと思う。（H）



(1)師岡康子『ヘイト・スピーチとは何か』2013、岩波新書、902円

(2)安田浩一『ヘイトスピーチ―「愛国者」たちの憎悪と暴力』2015、文春新書、880円

(3)角南圭祐『ヘイトスピーチと対抗報道』2021、集英社新書、968円

(4)野間易通『実録・レイシストをしばき隊』2018、河出書房新社、1980円

*絶版になっているが、ネット上に全文無料公開されている(<https://clubcrac.com/>)

(5)中村一成『ルポ 京都朝鮮学校襲撃事件―〈ヘイトクライム〉に抗して』2014、岩波書店、1980円

(6)野間易通『「在日特権」の虚構 増補版』2015、河出書房新社、1760円

(7)「NoHateTV」<https://www.youtube.com/hashtag/nohatetv>

(8)加藤直樹『九月、東京の路上で―1923年関東大震災ジェノサイドの残響』2014、ころから、1980円

(一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2023年度人権セミナー

《第1回》神出病院事件から考える精神科病院の人権問題 (仮)

2020年3月、神戸市西区の精神科病院・神出病院において複数の入院者に対する重大な虐待事件が発覚。看護師ら6人が逮捕され有罪判決を受けました。同病院では以前から虐待が常態化し、気付いている職員がいたにもかかわらず、それまで外部に伝わることはありませんでした。2022年3月、第三者委員会の報告が出ましたが、被害者への謝罪・賠償は今もおこなわれておらず、解決に向けたとりくみの継続が必要です。

今年2月にも、東京都八王子市の滝山病院で看護師が患者への暴行の疑いで逮捕されるなど、精神科病院における入院者虐待事件は毎年のように起こっています。神出病院の事件は例外ではなく、構造的な問題があると見なければなりません。

セミナーでは、神出病院事件解決に向けてとりくんできた高橋亮也さんとともに、精神科病院、精神科医療における人権問題について考えます。

■講師：高橋亮也さん（兵庫県精神医療人権センター代表）

■日時：2023年6月3日（土）14：00～16：00（13：30受付開始）

■参加資料代：一般：1000円／正会員（個人会員）：無料／定期購読（個人）・学生・賛助会員：500円

■定員：25人

■場所：①神戸市教育会館 501号室

お申し込みは
こちらから→



【アクセス】神戸市中央区中山手通4丁目10番5号

・神戸市営地下鉄「県庁前」駅（東1番出口）より東へ400メートル

②オンライン配信（定員90人） ※Zoomミーティングを使用します

■参加申込み方法：ホームページ、電話、メールなどでお申し込みいただけます。

(一社) ひょうご部落解放・人権研究所

2023年度賛助会員のご案内

- 【特典】①セミナー参加費50%割引
②『HB通信』（年6回発行）ネット配信
③研究所主催事業のご案内

【年会費】1,000円（4月1日～翌年3月末日までの期間）

【お申込み・お問合せ】

(一社) ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280 mail：blrhyg@extra.ocn.ne.jp

【会員のみなさまへ】

第57回定時社員総会のご案内

日時：2023年6月3日（土）

場所：神戸市教育会館 501号室

※当日14：00から同会場で、
2023年度第1回人権セミナーを
開催いたします。ぜひ、ご参加
ください。

事務局から

- 先日、孫5人にお手伝いをしてもらいジャガイモの植え付けが無事終わりました。種芋を植え付けをしているのか、孫の相手をしているのかよくわからないまま時間が過ぎていきました。今は、ただただ孫が植え付けた芋が無事に芽を出してくれることを祈るばかりです。(Ho)
- また雑誌(184号、185号)の発行が遅れてしまいました。4月中にはお届けしたいと思っておりませんが、割ける時間が少なく憂鬱な毎日です。関係各位にはご迷惑をおかけし、申し訳ありません(ka)
- 3月13日以降マスクをしない人がちらほら。ウイルスの性質は変わってないし、ユニバーサlmスクって、まずは無症状感染の可能性や「弱い」人への配慮からだったのでは…(H)
- 娘ちゃんが4月から3歳児クラスになり、保育料が無料に!! すごくありがたい…。保育料は高いんです。外国人教育施設も平等にしてほしいものです。(ひ)

HB通信の無料メール配信をご希望の方は、
研究所までメールアドレスをお送りください。→

